

光照寺公開講座のご報告

日時：令和 7 年 3 月 1 6 日（日）

場所：光照寺

講師：本多義治師（七山病院名誉院長 精神科医 浄見寺住職）

スケジュール

13 時半お勤め 13 時 45 分講話 15 時半閉講

講題 一心と脳ー 精神障がいって何だろう？

精神障がいの現状

精神障がい者の人数は、通院中の人は 614 万人、10 年前の約 2 倍の数です。

毎年 30 万人ずつ増加しているそうです。但し入院者数は、減少しているようです。増えているのは、うつ病・認知症などだそうです。



精神障がいに対するイメージ

・危険な怖い人・何をするか分からない・残忍な事件の犯人・回復は困難で治らない・遺伝する・心が弱い人になる、それらは全て誤解だそうです。

イメージの理由は

精神障がいは、内面の症状が主体で外から見えにくい為、症状が理解しにくいようです。時には周囲に迷惑をかけることがあり、どう接していいか分からないこともあります。マスコミなどが正しく経緯等を報道しないこともあり、真実が伝わりにくいようです。

危険な怖い人なのか

精神障がい者の犯罪率は 1% で、ほとんどの精神障がい者は、おとなしく穏やかな方が多いです。池田小学校事件や相模原障がい者施設殺傷事件などは、人格障害で精神障害とは、少し異なる、人格の偏りによる病気です。



精神障がいは治らない病気？

うつ病は、治療すれば治るそうです。統合失調症は、治療すれば良くなるようです。入院しても 93% の人が 1 年以内に退院するそうです。

遺伝するの？ 遺伝子（複数）と環境因子が合わさり発症します。遺伝子だけではならないようです。遺伝子にストレスが加わり起こります。

心が弱い人になるの？

うつ病は、責任感が強い人になりやすいようです。統合失調症は、おとなしく穏やかな人になりやすいようです。決して心が弱い人になりやすいわけではありません。精神疾患全般に性格と発病にあまり関係が、ないようです。

正しく知ることの大切さを教えて頂いたように感じました。